

# 与謝野町 議会だより



主な記事

- ◎新年度予算…………… 2P
- ◎学校給食費の無償化を求める  
請願について…………… 12P
- ◎一般質問…………… 16P

与謝野町立市場小学校 入学式

《題字》宮津天橋高等学校加悦谷学舎 / 書道部 谷川莉菜さん

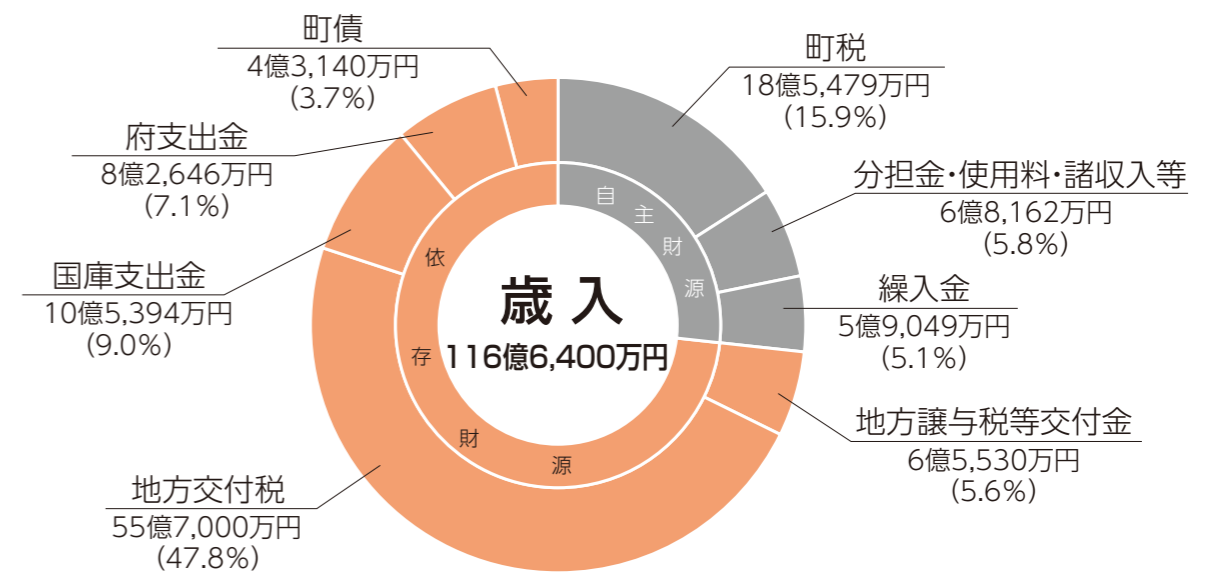
# 令和6年3月定例会

# 学校給食センター工事費を削除

3月定例会は、2月29日から3月28日までの29日間の会期で行われた。議案については、専決処分報告1件、専決処分承認2件、与謝野町自治功労者の表彰1件、人事案件2件、条例11件、補正予算8件、新年度予算9件、その他5件であり、合計39議案が上程された。総務文教厚生常任委員会は4日間、産業建設環境常任委員会は3日間にわたり、所管事項について審査を行った。一般質問は14人の議員が登壇し、3日間にわたり野田川地域こども園整備、上下水道管の耐震化、給食センター整備等について理事者の見解を求めた。予算審議では、令和6年度一般会計当初予算に対する修正案が提出された。修正案の内容は、学校給食センター整備費7千900万円を予備費へ組み替え、また、令和6年度から7年度の建設にかかる債務負担行が22億1千300万円を削除するもので、質疑討論を経て、修正案を賛成多数で可決した。また、一般会計予算に対する付帯決議案が提出され、賛成多数で可決した。全議案を通し、延べ51人の議員が質疑を行った。

令和6年3月定例会のようす

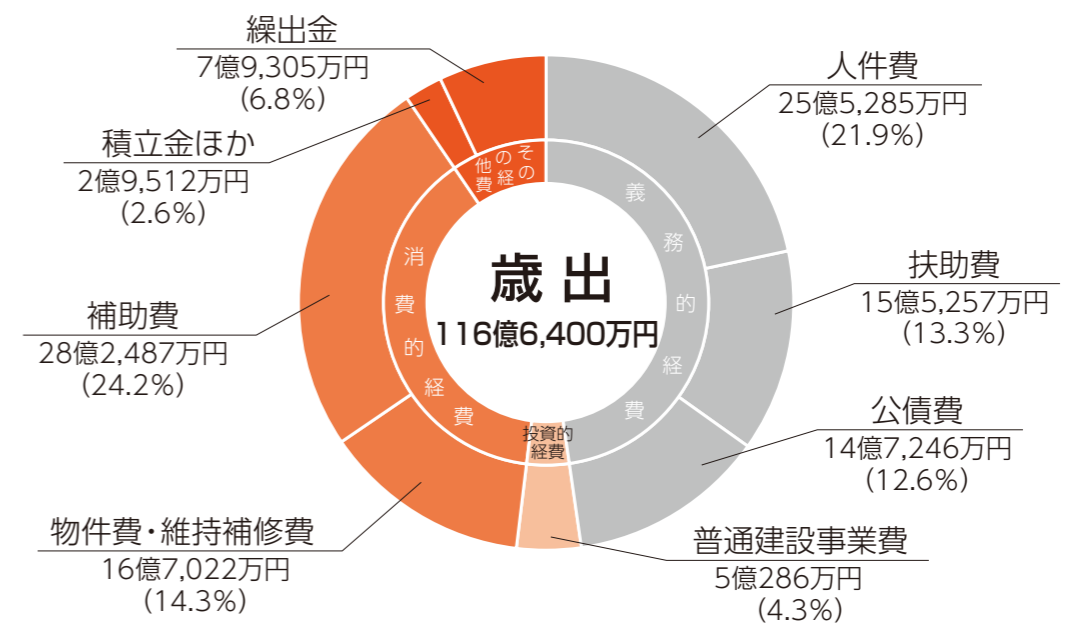
## 一般会計の歳入（まちに入ってくるお金）



## 特別会計・公営企業会計予算

特別・企業会計項目	令和6年度予算	前年対比
宅地造成事業特別会計	6,671万円	—
下水道特別会計	0万円	皆減
農業集落排水特別会計	0万円	皆減
介護保険特別会計	29億6,814万円	2.4%
土地取得特別会計	39万円	—
国民健康保険特別会計	22億7,050万円	▲0.2%
後期高齢者医療特別会計	3億9,059万円	▲0.5%
財産区特別会計	9,663万円	▲55.9%
水道事業会計（公営企業会計）	11億9,508万円	▲0.4%
下水道事業会計（公営企業会計）	20億5,639万円	皆増

## 一般会計の歳出（まちが使うお金）



※千円単位を切り捨てているため、いずれのグラフも合計額は一致しません。



# 木造住宅耐震化の補助拡充

すぎみ ただよし  
杉上忠義

**問** 能登半島地震では、住宅倒壊によって多数の死者が出ているが町は、木造住宅の耐震改修に対する補助金を拡充することになっているが、耐震診断・耐震設計・耐震改修する場合、補助金が活用できる基準は。

**副町長** 全課挙げての取組を実施していく。デジタルの力で地方の個性を活かしたまちづくりを推進する。

**問** 国からの交付金。5千47万円を、企画財政課が各課に配分したが、構想全体を議論する場が重要と考えるが。

**建設課長** 昭和56年5月以前に建てられた木造住宅は、耐震性が低い可能性が高く倒壊の危険性が高い。耐震診断を行い、耐震基準を満たす本格改修に対して、上限180万円の補助金が活用できる補助制度を充実する。

## デジタル田園都市構想

**問** 国は、交付金を創設し、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら、地域の課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するとあるが、これを実現するため役場内にプロジェクトチームが必要と考えるが。

**問** 産業について、町としては織物業は維持が大事で事業承継、人材不足が課題。農業は環境にやさしい農業を推進するという産業の進め方。町長は「それぞれの産業を新しいステージに乗せていくための第一歩を踏み出す」と言われた意味は。

**町長** 今まで支援を中心に考えてきたが、地場産業を基軸とした企業誘致に取り組むことが重要。

**問** 企業誘致を推進することが次の新たなステージなのか。

**町長** 具体的な経済活動として結び付けていくことを考えると企業誘致が大事になるので取組を進めたい。

## 計画として甘すぎる

**問** 給食センターについて、説明のたびに内容が変わる。議会当初にセンター、グラウンド、体育

# 通年と変わらないが

いまい こうすけ  
今井浩介

**問** 産業界は維持が大

**副町長** 全課挙げての取組を実施していく。デジタルの力で地方の個性を活かしたまちづくりを推進する。

**問** 国からの交付金。5千47万円を、企画財政課が各課に配分したが、構想全体を議論する場が重要と考えるが。

**建設課長** 昭和56年5月以前に建てられた木造住宅は、耐震性が低い可能性が高く倒壊の危険性が高い。耐震診断を行い、耐震基準を満たす本格改修に対して、上限180万円の補助金が活用できる補助制度を充実する。

## デジタル田園都市構想

**問** 国は、交付金を創設し、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら、地域の課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するとあるが、これを実現するため役場内にプロジェクトチームが必要と考えるが。

# 継続して取り組めるよう

やまざき まさふみ  
山崎政史

**問** 障害児通学支援事業の想定される人数と対象児童が増えれば経費なども増額していくのか。

**副町長** 幼稚園1名、小学部1名の想定であり、人数や通学の回数で費用も変わる。

**問** 京丹後市では先行して取り組まれている事業で同じ列車を使うが、何か連携して取り組んでいく考えは。

**子育て課長** 児童一人に支援員一人が必要だが、ノウハウなどを聞きながら一緒に進めていきたい。

**問** 当町がこの事業を取り組むことで京都府のほり組むことになり、京都府として取り組んでもらうことが必要だと考える。

**町長** 京都府北部地域の多くの自治体を取り組んでいる。より多くの財政支援を求めなければならぬと考える。

# 令和6年度予算の目玉は

ふじた しろう  
藤田史郎

**問** 令和4・5年度予算から対比しても、継続事業が多く新規施策は余り無い。新予算で推進する施策は。

**町長** 給食センター及び野田川認定こども園の早期建設である。

**指定管理料の改善を** 昨年の予算審議で指定管理料（担当課裁量による不公平）を改善するようお願いしたが。

**総務課長** 指定管理の在り方は検討した。管理料については検討している。

**庁舎の使用料見直しを** 本庁舎及び野田川庁舎内に京都銀行が入り営業されている。使用料と貸与期間はどのように。

**総務課長** 年間建物使用料は本庁舎138・3万円、野田川庁舎173・5万円で使用許可は年次更新である。

# 小中学校の不登校の現状は

あだち たねお  
安達種雄

**問** 国内の小・中学校の不登校や、発達障害などが全国的に教育現場で問題視されているが、町内の現状は。

**教育長** 発達上課題を持つている児童、生徒について、学校に行きにくい状況にある児童、生徒に

**問** 国内の小・中学校の不登校や、発達障害などが全国的に教育現場で問題視されているが、町内の現状は。

**教育長** 発達上課題を持つている児童、生徒について、学校に行きにくい状況にある児童、生徒に

**問** 国内の小・中学校の不登校や、発達障害などが全国的に教育現場で問題視されているが、町内の現状は。

**教育長** 発達上課題を持つている児童、生徒について、学校に行きにくい状況にある児童、生徒に

## 3月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対  
(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の賛否を決定します)

議案	議員名		宮崎	山崎	和田	山城	安達	三田	永島	河邊	山崎	今井	渡邊	浪江	高岡	野村	藤田	杉上	賛成	反対
	有平	良磨	裕之	功	種雄	義幸	洋視	新太郎	政史	浩介	貴治	秀明	伸明	生八	史郎	忠義				
与謝野町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3
令和6年度与謝野町一般会計予算に対する修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	5
令和6年度与謝野町一般会計予算に対する付帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3
令和6年度与謝野町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3
請願事項1(小中学校の給食費を無償化してください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	8
請願事項2(小中学校の給食費を無償化するための財源措置を京都府と国に求めてください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
学校給食費の無償化を求める決議(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3

## 原案に対する賛成討論

あだち たねお  
安達種雄（希望の会）

### 「新年度予算修正案に反対」

給食センターの問題においては、岩屋地区住民はもとより、与謝野町内の多くの方が岩屋小学校跡と認識している。大きな施策に差異があったとか、危険な状況が見受けられたとか、そのようなこともなく、すでに解体の日程も決まり、進入路についても今後地元と担当で協議を行い示していただきたい。新年度予算賛成の立場から原案に賛成する。

## 令和6年度 与謝野町一般会計予算に対する付帯決議(案)

いまい こうすけ  
提案者 今井浩介

提案された令和6年度与謝野町一般会計予算については、議会に対する説明が不十分であり、議員に指摘されてから説明資料が提出されるということが多かったことに加え、町民合意が不十分なまま予算提案されていると思われるものも多くあった。

建設事業の予算提案についても、課によって提案の時期や考え方が異なり、統一したものになっていない。さらに、役場内での連携が不十分であると思える予算提案も見受けられた。

これらを含む予算に対する態度を考えるなかで、修正削除することも検討したが、そこまで至らないものは付帯決議として、意見を付けることにした。

この決議を重く受け止め、今後対応することを強く求める。

### 記

- 1 認定こども園整備事業に係る鑑定評価委託料については、用地買収出来るかどうかを判断するための予算であり、現石川保育所用地と周辺農地に建設するという認定こども園整備計画（基本構想）を承認するものではない。
- 2 よさの住環境改善省エネ家電買換応援事業に係る会計年度任用職員の雇用については、プロジェクト組織を立ち上げて検討したうえで、必要最小限の雇用とすること。
- 3 学校授業でクアハウス岩滝のプールを使用することについては、プール授業について町全体の将来的な方針を定めようでの利用とすること。それに伴う備品購入予算については、教育費への組替を検討すること。
- 4 建設発生土処分場整備工事については、安全対策を講じたうえで地元住民や地権者の合意を得ようで事業実施すること。

以上決議する。

# 令和6年度 一般会計予算 10:5で修正案可決

## 令和6年度一般会計予算に対する修正案

やまざきりょうま  
提案者 山崎良磨

給食センター建設に関わる管理委託料200万円と整備工事費7千700万円を予備費に組替えし債務負担行為22億1千300万円を削除する内容である。昨年の3月議会、今議会定例会初日の全員協議会、そして今予算審議において、二転三転する説明は町と議会の信頼関係を損なう行為である。疑いをもたれないよう、整合性のある堂々たる提案を今後はお願いし修正案を提出する。

## 修正案に対する賛成討論

いえきいさお  
家城功（よさの21クラブ）

### 「町長は無責任では」

新しい給食センターについては、町の子どもたちに安心安全、そして美味しい給食を提供するために一日も早く進めていただきたいが、一定しない答弁と説明、膨れ上がる予算、また町長からは、「一定の責任は教育委員会に一任している」と予算提案者、事業執行者として無責任ともとれる発言があった。運営方針や進入経路、経費削減に向けての再協議を徹底してやり直していただきたい。

のむらしょうはち  
野村生八（日本共産党与謝野町議員団）

### 「債務負担の予算は削減を」

給食センター建設費に必要な予算として、債務負担行為22億円があるが、まだ事業内容が確定しておらず、必要な予算額が積算されていない段階だ。改めて出すべきであり、今予算から削除する修正案に賛成する。

## 反対討論

ながしま ひろみ  
永島洋視（日本共産党与謝野町議員団）

### 「物価高騰のもと、引上げ見送りを」

令和6年度より一人当たり5千546円、一世帯9千86円国保税を引上げるもの。物価高騰のもとで、3年連続の引上げは納得できない。国保加入者の高齢化と税負担能力の低下で運営困難に。国府の財政支援が求められる。



城山テニスコート

**内容説明**  
令和6年度より一人当たり5千546円、一世帯9千86円国保税を引上げるもの。物価高騰のもとで、3年連続の引き上げとなった。

## 与謝野町国民健康保険税条例の一部改正について

**内容説明**  
大江山運動公園テニスコート及び野田川テニスコートの夜間照明設備の廃止に伴い所要の改正をするものである。

## 体育施設条例の一部改正について

**問** 大江山テニスコートと野田川テニスコートの夜間照明は、なぜ廃止をするのか。  
**社教課長** 建設から年数が経過しており照明の落下の危険性があったため撤去した。  
**問** 時期によっては18時はまだ明るい。18時以降は使用できないのか。  
**社教課長** 今後、利用団体から要望があれば改正したい。

## 夜間照明はなぜ廃止か

たかおかのあき  
高岡伸明

## 付帯決議の賛成討論

のむらしょうはち  
野村生八（日本共産党与謝野町議員団）

### 「多くの問題がある予算」

予算提案に向けての住民への説明が不十分で、住民の意見を聞き入れない姿勢がはっきりした。これでは、住民との協働のまちづくりはできない。特に付帯決議の4点がなければ、本予算は認められず、賛成をする。

いえきいさお  
家城功（よさの21クラブ）

### 「付帯であっても約束事」

かねてから、一つ一つの事業に対する根拠、進め方、到達点などを検証に基づいて提案され、理解のできる説明を求め約束していたが全く今議会での質疑で感じることはできなかった。しかし、高校生までの医療費無償化の拡大や地域ぐるみの活性化事業、地域の安全対策など評価できる事業もあった。付帯事項は約束ごとである認識を。

## 賛成討論

ながしま ひろみ  
永島洋視（日本共産党与謝野町議員団）

### 「格差解消へ引続き努力を求める」

会計年度任用職員も正職員同様、人勤にもとづき4月に遡及して給与改定し、勤勉手当も支給するよう改正するもの。当初は6年4月改定としていたものを、委員会で他自治体と同様にしよう意見を出した結果、見直しされたもの。引続き格差解消へ努力を求める。

12月定例会において、一般職員の報酬等の一部改正が提案・可決された。それに続き今定例会において会計年度任用職員の報酬等一部改正が上程された。全員賛成で可決した。

## 会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について

## 請願の原案に対する反対討論

かわべ しんたろう  
河邊新太郎

### 「財源の確保」

給食費の無償化は必要であるが、与謝野町は財政的に厳しい。財源の裏づけがしっかり取れるようであればいいが、財源のない以上はする必要がない。よって、給食費の無償化には賛成できない。

すぎがみただよし  
杉上忠義

### 「学校給食法を超える議論が不十分」

「学校給食法」により、学校給食の実施・運営は市町村が担い、給食費は保護者負担とされている。経済的に厳しい状況にある保護者は、補助を受ける仕組みが制度化されている。この法律を超える無償化議論は不十分である。本町は、一食236円。給食費徴収は年間約7,800万円。この財源は恒久財源が必要。文科省は、昨年末給食の実態調査をすると公表。国の動向をよく見極めることも重要。町の厳しい財政状況を議会も考慮する責任があることから「無償化」に反対とする。

## 請願の原案に対する賛成討論

のむらしょうはち  
野村生八（日本共産党与謝野町議員団）

### 「学校給食の無償化は住民の願い」

高齢者も含めて、ほとんどの住民の願いである。東京都、青森市で実施、八幡市では値下げ、舞鶴市では中学校から実施を提案。自治体の事情で様々だ。財政が困難な与謝野町では、すぐにはならないが、令和7年度以降に財政余力が生まれることから、実現可能な請願として賛成する。

## 学校給食費の無償化を求める決議(案)

与謝野町は人口減少や少子化に歯止めがかからず、また財政状況については令和4年度の実質公債費比率が全国ワースト2位という状況となり、町政の進展に影響を及ぼしている。財政当局を中心に健全化に向け取組を進めているところである。

そのような中、町は「子育てするなら与謝野町で」を掲げ、妊娠時から就学前までをサポートする「ハローベビープロジェクト」、「産後ケア」などの事業を実施している。更には令和6年4月からは子育て支援医療事業の拡充などに取り組んできた。

その一方で、すでに京都府下では伊根町、井手町、和束町、笠置町、南山城村で学校給食費の無償化がはじまっており、全国では県庁所在地をはじめ、多くの自治体で無償化が実現し、さらに広がりを見せています。

したがって、与謝野町においても下記事項に留意し、実施することを強く求める。

記

1. 実質公債費比率が全国ワースト2位という財政状況であり、財政健全化は最優先課題である。従って、学校給食無償化の実施にあたっては、財政健全化との整合性を考慮したうえで、実施できるよう検討すること。
2. 保育所並びにこども園の給食費の無償化や学校給食費の一部を補助する制度からスタートすることも含めて検討すること。

以上、決議する。

令和6年3月 日

与謝野町議会

## 学校給食費の無償化を求める請願について

### 内容説明

12月定例会で総務文教厚生常任委員会に付託され継続審査となっていた「学校給食費の無償化を求める請願」の委員会審査結果が、付帯決議を付けたうえで採択とすべきものと報告された。本会議での審議においては、項目ごとに採択する動議が提出され、採決の結果、次のとおり一部採択となった。

・請願項目1「小中学校の給食費を無償化してください」 賛成少数で不採択

・請願項目2「小中学校の給食費を無償化するための財源措置を京都府と国に求めてください」  
賛成多数で採択

引き続き「小・中学校給食費無償化を推進するための財政措置を求める意見書(案)」を全員賛成で可決した。

また、議員発議で「学校給食費の無償化を求める決議(案)」が提出され、採決の結果、賛成多数で可決した。

## 請願審議 一部採択の提案

いえきいさお  
提案者 家城功（よさの21クラブ）

請願は、町民誰もに与えられた権利である。請願の思いを理解し受け止める責任は議会の役目。しかし同時に、採択すれば実現させる責任もある。今回の請願事項は①町の給食費の無償化②給食費無償化に向けての国や府への要望である。②についてはすでに行政からも動いており、今後も進めるべきであるし実現も可能なので採択。①については、趣旨や思いは理解できるが、行政の考え方の確認や財源根拠などの協議が不十分ではないかと感じているし、今すぐの実現性も町の財政状況からみても難しい。今後においては、行政にも給食費の無償化の考えをしっかりと共有し、協議が進められることを提案しながら、議会でも実現できる方向性をもって、この件を扱うべきと考え審査については各請願事項の決を採ることを求める。

## 一部採択に対する反対討論

ながしま ひろみ  
永島洋視（日本共産党与謝野町議員団）

### 「事実上の不採択で、無償化に反対」

委員会審議では、財政健全化との整合性を考慮したうえで実施時期を考えるという付帯決議がついた。一部採択の提案理由は、この付帯決議に入っており、項目ごと採択にする必要はない。提案は事実上の不採択で無償化に反対しているということ。

宮津与謝環境組合議会

報告者 家城功

令和6年第1回定例会  
令和6年2月19日

今回の議案は、「公正委員会委員の選任について」「令和5年度一般会計補正予算第1号」「令和6年度一般会計当初予算の承認」の3議案。  
まず、議案第1号は、「公正委員会委員の選任について」は、伊達真二氏（石川区）の任期満了に伴い、同氏を再度選任することによって全議員が同意した。任期は、令和6年5月20日から令和10年5月19日まで4年間。

次に、議案第2号は、「令和5年度一般会計補正予算第1号」で、令和4年度の繰り越し余剰金約2千268万円を、令和5年度会計の分担金減額で処理するという内容。当町の分担金の減額は、分担分の46・878%の1千63万2千円。全員賛成で可決。  
3つ目は、議案第3号「令和6年

度一般会計当初予算の承認」で、歳入歳出ともに5億9千530万円、歳入の約83%の4億9千630万円が各市町の分担金で、残りは売電収益や資源化物の売り払い金が約8千万円である。歳出は例年通りに施設運営や管理費用に充てられるが、当初からの計画の「機器関連の保守費用」も含んだ計上となつている。当町の分担割合は、前年度から0・599ポイント下がった46・279%であり、金額的には約300万円の減額となったが、更なる軽減のためにもごみ減量化を進めるべきである。

宮津与謝消防組合議会

報告者 山崎政史

令和6年第1回定例会  
令和6年2月19日

◎報告1号、宮津与謝消防組合職員への給与に関する条例及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分承認が報告され全員賛成で承認。

◎議案第1号、宮津与謝消防組消防職員の給与に関する条例の一部改正が提案され賛成全員で可決。

◎議案第2号、宮津与謝消防組合手続上条例の一部改正が提案され賛成全員で可決。

◎議案第3号、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ710万7千円を減額し、歳入歳出それぞれ9億8,264万9千円とする一般会計補正予算第1号が提案され全員賛成で可決。

◎議案第4号、歳入・歳出の総額をそれぞれ9億6千463万円となる令和6年度宮津与謝消防組合一般会計予算が提案され賛成多数で可決。

与謝野町宮津市中学校組合議会

報告者 渡邊貫治

令和6年第一回与謝野町宮津市中学校組合議会臨時会  
令和6年2月14日

◎議案第1号、専決処分の承認を求めることについて

◎議案第2号、与謝野町宮津市中学校組合職員の給与に関する条例の一部改正について

◎議案第3号、令和5年度与謝野町宮津市中学校組合一般会計補正予算（第3号）

が上程され、議案第1号と3号については質疑が行われた。全議案について全員賛成で承認・可決された。

京都地方税機構議会

報告者 宮崎有平

令和6年2月定例会  
令和6年2月6日

山崎広域連合長から提案理由の説明が行われた。

◎第1号議案、令和6年度京都地方税機構一般会計予算は、歳入歳出それぞれ25億4千123万円とする。

◎第2号議案、令和5年度一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に1億8千398万円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億9千480万円とする。

◎第3号議案、京都地方税機構広域計画変更の件が審議され、すべての議案は、賛成多数で可決した。

議長報告

報告者 宮崎有平

令和6年1月12日

京都府市町村議会議員公務災害補償等組合議会が開催され、第1号から第7号議案まで審議し、可決した。

令和6年1月18日

丹後二市二町議会議長会が開催された。各市町議会から提案している事項について、協議した。

令和6年2月20日

京都府町村議会議長会第74回定期総会が開催された。議案第1号、令和4年度一般会計歳入歳出決算書は、歳入合計2千563万円、歳出合計2千482万円、歳入歳出差引残高81万円である。

議案第2号、令和6年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ3千350万円である。採決の結果、可決した。

表彰

与謝野町自治功労者表彰

（在職12年以上）



わたなべ かんじ 議員 渡邊 貫治





# 一般質問

## ここが聞きたい



「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要なため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に対して疑義を問いただすことです。

### Q 保険証マイナンバー準備は

#### A 混乱が起きない情報が必要



やまざきりょうま 山崎良磨 議員

**問** マイナンバーカードの保険証化が本年行われるが、当町の人口のボリュームゾーンは高齢者の方が多いがうまく告知する準備はできているか。

**町長** 与謝野町の65歳以上の人口は7千人以上で約4割となっており制度変更後に混乱が起きないように正しい情報を伝えることは重要であると考えている。広報よさの活用したり、国保加入者には納税通知書の発送時に、後期高齢者医療加入者には保険証の一齐更新時にパンフレットを同封するなどしお知らせしているが、今後も引き続き周知活動をしていきたい。



保険証化はもうすぐ

**住みたい田舎ランク外**  
宝島社発行の田舎暮らしの本第12回住みたい田舎ランキングにおいて当町はランク外であったが与謝野町を真に住みたい町にするためには何が必要と考えるか。

**町長** 第二次与謝野町総合計画の基本構想で示した様々な取組を進めていく必要がある。

**問** 住民のための社会基盤整備を整えることができれば自ずと移住者は増えると考えているか。

**町長** 住民に目配せができていない社会基盤整備は重要と考える。

## 目次

ページ	質問事項	質問議員
17	マイナンバーカードの保険証化について	やまざきりょうま 山崎良磨
17	男山川が昨年9月に綺麗にされたが残り半分は	みたよしゆき 三田義幸
18	原発の避難計画について	たかおか のぶあき 高岡 伸明
18	見える町づくりを問う	わたなべ かんじ 渡邊 貫治
19	危機管理とその対応	ふじた しろう 藤田 史郎
19	野田川地域認定こども園整備計画(案)について	いまい こうすけ 今井 浩介
20	上下水道管の耐震化の現状	やまざき まさふみ 山崎 政史
20	出会いの場創設を	なみえ ひであき 浪江 秀明
21	人口減少社会重層的対策を	すぎがみ ただよし 杉上 忠義
21	野田川地域認定こども園の建設について	のむら しょうはち 野村 生八
22	給食センター整備について	ながしま ひろみ 永島 洋視
22	「放射能から住民をまもる」について更にお考えを伺う	あだち たねお 安達 種雄
23	移住定住者を増やす施策について	かわべ しんたろう 河邊新太郎
23	町長の政治姿勢と政策について	いえき いさお 家城 功

### Q 男山川が綺麗にされたが残り半分は

#### A 男山区と相談しながら京都府への要望を行う



みたよしゆき 三田義幸 議員

**問** 男山区長の粘り強い要望が実現して、男山川の見晴らしが「これが男山川だったのか」と驚くほどに変身した。欲を言えば切りがないが、男山浄水場までの浚渫工事を前向きに検討して、京都府への要望を期待するが、町長の見解を伺う。

**町長** 男山川は令和4年度と令和5年度に連続して浚渫工事を実施した。これは男山区と共に京都府へ強く要望を行った結果と理解する。下流部は河床勾配も緩く川底と堤防の高低差も少なかったことにより、豪雨時には水位が堤防に近い所まで上昇し氾濫が危ぶまれていた所だった。上流部においては依然、雑木が生えていることも確認でき浚渫を希望する意見もあるので男山



男山浄水場までの浚渫を

区と相談しながら京都府への要望を行うていきたいと考える。

**問** 町長が男山地区の国道178号線を車で走行する際に、男山川を「チャッ」とでも目にしたことと思うが、浚渫工事を行う前と後での印象の変化について問う。

**町長** 男山川とは本来この様な形だったのだと驚きがあった。浚渫工事を行うことによって川が拡がる印象を受ける。そのことによって、水力を高めていくことが本来出来るんだと云うことを、改めて感じている所である。

### Q 原発の避難計画は怎么样了なっているか

**A** これまでから京都府と協議を続けてきている



たかおかのぶあき 高岡伸明 議員

**問** 30キロ圏外であっても避難できることが必要と考える。現在与謝野町の原発の避難計画はどのようになっているか。

**町長** 町民等の避難などの防護措置の対応を円滑に実施するため、与謝野町原子力災害屋内退避・避難誘導要領(案)について京都府と協議を続けている。

**問** 30キロ圏外ではあるが、モニタリングポストが必要ではないか。

**町長** 与謝野町内へのモニタリングポストの設置を求めていく。町内を候補地としていただくよう努めていきたい。

**問** 不測の事態を想定して与謝野町民が避難、移転することが可能か検討



日頃から周知・徹底を

する必要があると考えるが。

**町長** 与謝野町原子力災害屋内退避、避難誘導要領(案)について、京都府と協議を続けてきているところである。

**現状はどう進んでいるか**

**問** 産業創出交流センターの現状はどのように進んでいるか。

**町長** 指定管理者制度の導入を目指したがかなわず、町直営で管理運営をしている。成果は十分には得られていないと認識している。

### Q 地震防災に関する危機管理の対応

**A** 能登半島地震を機に地震防災を再検討する

**問** 平成年号30年間で阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震など5つの大震災が発生して令和6年元旦に能登半島地震で大惨事となった。この放映・報道を見て、どのように思われるか。

**町長** 当地域である丹後半島と同環境で、道路の状況・液状化の危険性・高齢化による木造住宅耐震化の遅れなど緊急的対策が必要であると感ずる。

**問** 本日3月7日の一般質問(地震防災)は偶然にも昭和2年に発生した丹後大震災の日である。そこでサイレンやKYTテレビで、住民にお知らせするよう提案する。

**町長** 発生時間、午後6時27分にサイレンの吹き鳴らし・SNSでの発信を



与謝野町の震災マップ(京都府)

予定している。

**問** 震災対策の基本的マニュアルの見直し、住民に対する具体的な事柄(隣組での共有事項など)を検討し、住民に広報すべきである。

**町長** 行政内で地震防災を再検討し、住民の震災意識を高めるよう広報して行く。

**小中学校での危機管理**

**問** 開校時での震災対応・不審者への対応は。

**教育長** 震災・不審者などの危機管理マニュアルに対応した避難訓練・救援活動・保護者への連絡などにより、児童生徒の安心・安全に教職員全員で共有している。



ふじた しろう 藤田史郎 議員

### Q 見えるまちづくりを問う

**A** 除雪対応について

**問** 1月13日に大雪警報が発令されたがなぜ初動体制で出動しなかったか。

**町長** 15センチ以上の積雪で出動する。

**問** 大雪警報が発令されてもか。

**町長** そうである。

**問** 今回の除雪は1回走って終わりである。なぜきれいにできないのか。

**町長** 除雪業者の除雪路線数や除雪機の台数にもよるが1日で2回の除雪は困難と考えている。



除雪はしっかりと



わたなべ かんじ 渡邊貴治 議員

### Q 住民の合意形成は図れたのか

**A** 大きな反対はなく一定の納得感が得られた

**問** 国道沿いで交通量も多く、商業施設もある。小学校もあり登下校で子どもも歩き、道が狭い中で、園児250名、送り迎えの車が一日500台行き来するが、交通の安全は納得されているのか。

**町長** 京都府や京都府警との協議を経た決定する。

**問** 建物の設計計画が無ければ交通対策は考えられないのか。

**町長** 現時点で示せない。

**問** 住民との合意形成は本当に図れたのか。

**町長** 石川保育所周辺の用地を活用して建設したいことは一定の理解をいただいたと認識している。



いまい こうすけ 今井浩介 議員

**問** 野田川地域認定こども園整備計画について、用地買収、災害、交通の3つの軸から、石川保育所周辺を候補地にすると説明されたが、用地買収してまでも妥当だと決断された理由とは。

**町長** 一定の敷地面積を確保しなければならず、3園舎を比較検討し石川保育所周辺を判断した。

**問** 用地を取得して建設すると方向性が変わった。どこでも候補地の可能性があるのでは。

**町長** 所有している用地を基本として用地取得を判断した。

**問** 水害についての声が多いが、災害対策は。

**町長** 町全体の河川改修により軽減される。



現在の石川保育所

### Q 理解や協力が得られる計画や説明を

#### A 災害時に備えた取組を進める

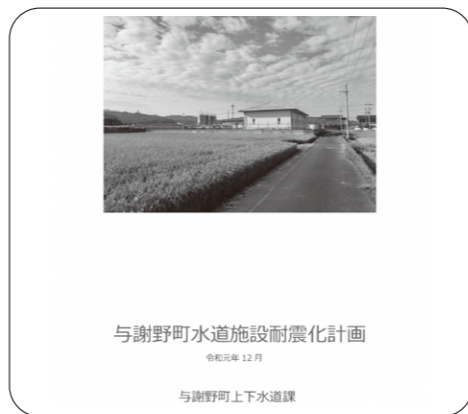


やまぎきまさひさ 山崎政史 議員

**問** 日本の水道普及率は98%を超え住民生活や社会経済活動に不可欠な重要なライフラインとなっている。与謝野町水道施設耐震化計画が策定されたが現状は。

**町長** 耐震化の方向性を示し、実施計画に従い優先順位を定め水道施設の耐震化に取り組む一方で、大規模な災害による影響を最小限にとどめる事も重要な対策と考え、各浄水場の配水区域間の応援給水が可能となる連絡管の布設も行っている。

**問** 水道事業は水道料金を主な財源として運営する独立採算制で人口が減少し利用する人が減れば、料金収入も減少し事業を維持・管理するための財源が不足すると言われており厚労省は人



計画が一番重要

口減少が加速的に進む今後、水道事業を継続できない恐れすらあるとしているが町の現状は。  
**町長** 人口減少を勘案したときの経営の持続性を求めた議論はこれまでから積み重ねてきた。  
**問** 災害に備えた計画の必要性や、水道施設の耐震化、また被災した際の備蓄には多額の費用が必要であり、行政は住民の理解を得るよう充分なコミュニケーションが必要。  
**町長** 改定時には上下水道審議会の意見を踏まえ対応してきた。災害時に備えた取組を進めていきたい。

### Q 若者の出会いの場創設を

#### A 出合いや交流の場づくりを図っていく



2人の出合いを

**問** 与謝野町においても少子化及び晩婚化がすすんでいる。そこで、若い方々の出会いの場を町の主導でできないか。

**町長** これからの社会を担う若者の希望が叶う環境の一つとして出会いの場の創設のニーズがあるなかで、個人、民間、行政など多様な主体がそれぞれの強みや得意を生かし取り組んでいく必要があると考えている。

**問** 具体的な取組は。

**町長** 京都府では、きょうと婚活応援センターによる相談、出会いの場の提供若手社員向け交流イベントを開催されている。与謝野町では京都府の支援メニューを活用した商工会青年部主催の交流イベントなどが開催されるなど

民間による若い世代にアプローチした取組も開催されている。また、よさのみらい大学や大江山登山マラソンといった事業が、新たな出会いと交流の場にもなっている。今後とも、男女の出会いの場に限らず若い方々も含めた出合いや交流の場の創設を図ってまいりたいと考えている。



なみえ ひであき 浪江秀明 議員

### Q こども園建設に住民合意はない

#### A 場所の反対はなく一定の理解が得られた



のむらしゅうはち 野村生八 議員

**問** 野田川地域認定こども園建設の説明会で、住民合意は得られたと考えているのか。

**町長** 財政、交通、浸水対策など出された意見は、今後しっかりとした対策をし、納得を得られると考えている。反対はなく、一定の理解は得られた。

**問** 説明会で多くの疑問や意見がでた。それを受けて計画変更をしたのか。

**町長** 変更していない。

**問** 疑問に答えられないのなら、住民合意はできていない。

**町長** 計画案を取りまとめる段階で、得られる。

**問** 場所の合意ができたと考えているのか。

**町長** 場所の反対はなかった。理解は



住民合意が大事

得られた。  
**問** 土地単価が高い用地を、現園舎の2倍も購入する計画で財政負担が大きいの。水害の不安、交通の危険などもある。他の土地も検討すべきだ。  
**町長** 様々な検討の結果、石川に決定した。厳しい財政状況でも、最適地と判断している。  
**問** 頓挫した前回の計画の進め方と同じだ。  
**町長** 前回とは違い、丁寧に説明会をしてきた。

**問** 何度説明会をしても、出た疑問に答えず、計画を今決定するという。前回と同じ進め方だ。  
**町長** 場所に反対はなかった。計画を進めるなかで理解を求めていく。

### Q 人口減少社会重層的対策

#### A 人々が住み続けたい「まちづくり」に総力を挙げる



住み続けたいまちを

**問** これまでのように企業誘致で地方活性化ということには人口問題は単純にはいかない。重層的な人口減少適応施策が重要であるが。

**町長** 子供の育成。地域社会の福祉。医療分野の人材確保。地域課題に取り組む人材育成などに総力を挙げる。

**問** 地方自治体に人口減少の危機的な現状を突き付けたのは、国立社会保障・人口問題研究所が昨年12月公表した「地域別将来推計人口」。本町の2050年の推計人口は1万762人。地域によっては、自治体機能維持が危ぶまれると報道されたが。

**町長** 町内外の人々が、滞在交流し住み続けたい「町づくり」を推進し、人口減少抑制に取り組む。



すぎがみただよし 村上忠義 議員

**問** 市町村の枠を超えての広域行政推進に「連携中枢都市構想」の進展が重要ではないか。  
**町長** 各市町の特徴を活かした「分担と連携」をコンセプトに、観光や産業、教育、医療、交通等の各分野での連携施策に取り組んでいる。  
**問** 育児と介護の啓発と支援  
**町長** 子育てと家族の重なる状況の介護の当事者を社会からの孤立を防ぐ支援策が求められているが。  
**町長** 介護が始まっている家庭の場合、ダブルケアになる前に状況の把握、支援策の提案をし、孤独や不安感を減らし安心して出産・育児ができるように取り組んでいる。

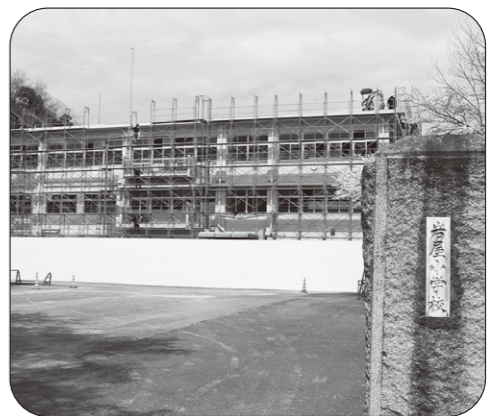
### Q 22億円の複数年工事承認は撤回を

**A** 一日も早く整備をしたいとの思いから

**問** 通常は分けて発注する、給食センター基本設計、実施設計、岩屋小解体工事設計、解体工事監理業務が一括発注されている理由は。

**教育長** 事業費が削減でき、工期が短縮できる。  
**問** 建物配置等を共有する基本設計面図が今議会に提出された。通常は、この時点で地元や議会の意見を聞き、修正して実施設計に入るが、地元と議会への説明、協議なしで実施設計に入ることが判明、地元と議会軽視ではないか。

**教育長** 指摘はそのとおり、1月の臨時議会で説明する予定であったが、臨時議会が開催されず、今議会での説明となった。



現在の旧岩屋小学校

**問** 説明された事業費は概算金額。概算段階で22億円もの、複数年工事承認(債務負担行為)が提案された。大事業であり、シッカリとした積算と検討が必要。事業費が固まってから提案すべき。  
**教育次長** 当初予算段階で、予算を確保しておく必要がある。

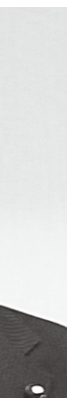
**問** 加悦こども園整備では、実施設計完了時に債務負担行為が提案された。同じ町で異なる対応、適切な提案時期ではない。撤回するべき。  
**教育長** 現センター老朽化と衛生基準未適合で、一日も早く整備したいの思いからであり理解を求める。



ながしま ひろみ 永島洋規 議員

### Q 大規模地震に対する取組は

**A** 防災・減災の意識を高める取組が大切



かわべ しんちろう 河邊新太郎 議員

**問** 能登半島地震の被災地に派遣された宮津与謝消防組合隊員代表4人からの報告を受けて町長は、どう思われたか。

**町長** 被災地支援に行つて頂いた15名の隊員の方に敬意と感謝を申しあげます。当町においても、日頃から隣組単位での災害時の行動パターンを考えておくなど、防災・減災の意識を高めるための取組が大切であると感じました。

**問** 本町の耐震化の状況は。

**町長** 木造住宅については53・99%、住宅全体としては59・80%となる。耐震化制度の充実を図り令和6年度予算に反映された。

**町長** 感震ブレイカーの設置状況は。感震ブレイカーの町内の設置状況



普段の訓練が大事

況は、調査している機関や団体がなく把握できていない。

**移住定住者の施策は**

**問** 移住定住を増やすための施策について考えは。

**町長** 与謝野町では多様なニーズを持たれている移住検討者や定住者に対して移住から定住間での各段階で必要に伴走支援などの支援策を提供する必要がある。

**ソーラーシェアリング**

**問** 本町のソーラーシェアリングについての考えは。

**町長** 北部7市町の環境部局職員と農林部局職員との勉強会の計画がある。

### Q 再度、「放射能から住民を守る」何う

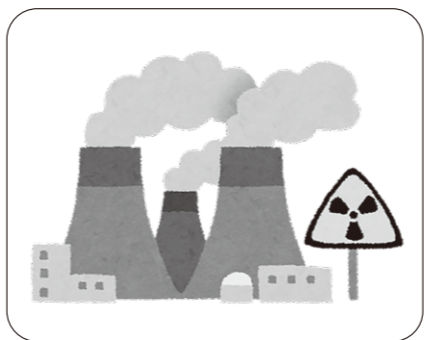
**A** 国の協議、府と連携する



あだち たねお 安達種雄 議員

**問** 昨年12月議会で伺ったが、奇しくも本年元日に、能登半島震災が発生し、多くの住民の犠牲者、又、多くの家屋の倒壊など大災害であった。その中で石川県志賀原発から、放射能の飛散がなかったのは、幸いであった。原発事故に関する現行のUPZ対策指針は、被ばくを避けるための屋内退避が主で、家屋が多数倒壊する地震や津波など被害が重なる「複合災害」は想定されておらず、マスクでも各自自治体を立てる非難計画は「複合災害」の避難方法を、想定して考える必要性を訴えている。与謝野町の安定ヨウ素剤服用が必要となった場合の周知は。

**町長** 原子力災害対策指針では原発30キロ圏内「避難等併せて安定ヨウ素



本町にも計画を

剤服用」とし、近隣市町の原子力災害住民避難計画では、避難時等に配布する。  
**問** 安定ヨウ素剤服用のタイミングはいつか。  
**町長** 放射性ヨウ素にばく露する24時間前からばく露後2時間の間に安定ヨウ素剤服用により、放射性ヨウ素の甲状腺への集積の90%以上を抑制する。  
**問** 与謝野町は高浜原発から30キロ圏外だが対応はどのようになっているか。

**町長** 安定ヨウ素剤の配布や一時移転は、30キロ圏内と並行し実施される。緊急モニタリングの状況により、避難等移転時に適切な服用時期に国が判断して配布する。

### Q こだわりと責任が町政運営には必要

**A** 理解得られる中で協働のまちづくりを進める

**問** 第3期山添町政がスタートしてから前半の2年が終わる。この間、子育て教育の分野、機構改革の分野、町政運営の分野の3つの柱から、細かな事業や取組に対し、一般質問の場で、議論を重ね改善策や見直しも求めてきた。より良い事業の形になるためだがその後どう変わり現状は。

**町長** 子育て教育の分野では、支援センターや病児保育などは少しずつ利用者が増えている。キッズステーションは団体や自治会で取り組んでいただき現在8カ所の運営をしている。機構の分野では、役割を明確にして職員の理解を更に図りながら効率化も含め改善を図っている。3特命室では重点事項の課題について取り組んでいる。総合



町運営をしっかりと

**教育長** 町の素材を活用した新たな授業も取り入れている。学校図書は様々な工夫をしながら更なる充実を図っている。

**問** 全てにおいて、何をやるのか、達成するための取り組み方、改善すべき点は、改善によりどう変わる、最終目指すものを町民に示し伝え理解と協力の得られる形で。

**町長** 指摘の通り。しっかりとらえ取り組む。



いえき いさお 家城功 議員



まちの宝  
子どもページ

# 山田保育所の紹介

## ～笑顔がいっぱい！山田保育所～



桜の木の下で！  
みんなを見守ってくれています。

今年の山田保育所は「なんにでも始まりがあって、終わりがあるって、そしてまた始まるんだよ！」ということ子ども達と一緒にいっぱい見つけていきたいと思っています。子ども達はどんなことを見つけてくるでしょうか？

春は散歩に行って生き物と友達になり、夏は泥んこ遊びで水が大好きになり、秋は落ち葉で遊びを発見し、冬には部屋での遊びが広がっていきます。

子ども達・先生達のやってみたいことはどんどん挑戦し、その姿をできる限り応援していきたいと思っています。自分大好き！先生大好き！友達大好き！保育所大好き！と子ども達の笑顔がいっぱいになりますように…そして、保護者の方、地域の方も一緒に笑顔が広がりますように…



今日はなにをして遊ぶか？  
子ども達の目がキラキラしています！



散歩に行ったら、春がいっぱい見つかったよ！

# のだがわこども園の紹介

## 『心動く環境の中でいっぱい遊ぶ子どもをめざして』

乳幼児期は、自分で興味や関心をもって頭も心も体も動かし、身近な人や友達と関わりながら、夢中になって遊ぶことが大切だと考えています。子どもたちは好きな遊びを楽しみながら工夫したり、試行錯誤したり、新たな発見をしたりして、繰り返し繰り返し遊び楽しめます。それらは全て学びにつながる体験です。のだがわこども園では、心動く環境・遊びを通して豊かな心づくり、体づくりに努め、子ども主体の保育を心掛け、学びに向かう芽を育てていきます。また、一人一人を大切に、その子らしさを受け止め、子どもとの共感や応答的な関わりから生まれる自己肯定感の育みを大切にし、『やさしい園づくり』に努めます。



「なぜ？同じピンク色だけど少し違う？」  
～3歳児・色水遊び～



「おもしろそう！シャワーみたい！」  
～1歳児・砂場で水遊び～



「これどうなるのかなあ？ねえどこまでむく？」  
～4歳児・とうもろこしの皮むき～